

柿 幼 樹 の 解 体 調 査  
長 田 一 美\*

OSADA, K. Dismantlic Investigation on the Young Japanese Persimmon Trees

---

調査方法 縦, 横, 高さ各 56, 67, 67 cm の Root-Box に植付け, 生長相の調査に供していた 5 年生の柿次郎の若杉系及び一木系各 1 本を 1 月に掘上, 水洗し陰乾したものを 10 日後に解体調査し, 両系を比較した。

成績及び考察 第 1, 2, 3 表によつてこれを見る

---

\* 熊本縣果樹試験場

と, 調査樹が一本あてなので確定的な事は云えないが次の通りであつた。

すなわち, 樹勢の旺盛な若杉系は, わい性で樹勢の弱い一木系に比して, 地上部, 地下部 (根部) とともに全重量は大であり, 地上部では枝令毎の重量も大であるが, 根では大根の量が多く細根量は少い。一木系は

第 1 表 地上部の比較

系統名	項目	5 年					計
		5 年 (主幹)	4 年	3 年	2 年	1 年	
若杉系	重量 (gm)	548.9	173.0	462.7	251.0	220.7	1,656.3
	(本数)	(1)	(4)	(12)	(36)	(138)	(191)
一木系	重量 (gm)	334.5	89.5	162.9	170.7	129.6	887.2
	(本数)	(1)	(4)	(4)	(20)	(80)	(109)
	%	33.1	10.4	27.9	15.2	13.3	
	%	37.7	10.1	18.4	19.2	14.6	

第 2 表 地下部 (根部) の比較

系統名	項目	根別				計
		幹根	大根	中根	細根	
若杉系	重量 (gm)	873.0	1,023.9	124.2	212.9	2,234.0
	%	39.1	45.8	5.6	9.5	
一木系	重量 (gm)	734.6	322.3	88.9	229.1	1,374.9
	%	53.4	23.4	6.5	16.7	

註 大根：径 6 mm 以上 中根：3~6 mm  
細根：3 mm 以下

両部とも全重量は少ないが、根の特徴として大根は少いが細根は著しく多い。T/R は若杉系が大きく一木系は小さかつたが、いずれも成木の場合<sup>(1)(2)</sup>よりも小であつた。

なお、以上の結果から、接穂の品種が砧木に及ぼす

第 3 表 総括表

系統名	項目	部別		計	T/E
		地上部	地下部		
若杉系	重量 (gm)	1,656.3	2,234.0	3,890.3	0.741
	%	42.6	57.4		
一木系	重量 (gm)	887.2	1,374.9	2,262.1	0.645
	%	39.2	60.8		

影響<sup>(1)(3)</sup>と同様に、同一品種においても系統によつてその影響の異なる事が窺える。

文 献

- (1) 木村光雄：柿編 (1951), 17~18 & 78.
- (2) 菊池秋雄：果樹園芸学, 下巻 (1953), 83.
- (3) 田中論一郎：園芸の研究, 27 (1953), 34~35.